

2013年9月から2020年12月までに

当センター物忘れ外来を新患受診された方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に利用することを了承されない方は、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

研究の名称

認知症行動障害尺度（Dementia Behavior Disturbance Scale: DBD13）
短縮版の開発

研究の対象

2013年9月～2020年12月に当センター物忘れ外来を新患受診された方

研究の期間

倫理委員会承認後から2022年3月まで

研究の目的

認知症の行動・心理症状（Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia: BPSD）は、認知症高齢者の施設入所、介護者の介護負担および抑うつ予測因子であり、認知症ケアにおいてはBPSDを適切に評価することが重要と考えられています。

現在、我が国の認知症初期集中支援チームではBPSDの評価尺度として認知症行動障害尺度（Dementia Behavior Disturbance Scale: DBD13、以下、DBD13）を採用しています。DBD13は13項目5検法による評価尺度であり評価に時間を要するため、在宅や高齢者施設でより簡便に使用できる、同尺度の短縮版を作成することを目的とします。

研究の方法

対象者の診療録より、背景情報（性別、年齢、診断）および心理検査結果を収集し、統計解析を行うことによって尺度開発を行います。

研究に使用する試料・情報

研究対象者背景（性別、年齢、診断）、心理検査結果

（物忘れ外来で通常に行われる検査のほかに、本研究のための追加調査はございません。）

研究組織

研究責任者 東京都健康長寿医療センター
認知症支援推進センター センター長 井藤佳恵
共同研究者 東京都健康長寿医療センター
研究所 副所長 栗田圭一
共同研究者 東京都健康長寿医療センター
精神科 主任技術員 扇澤史子

資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

お問い合わせ先

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
健康長寿イノベーションセンター
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号
TEL 03-3964-1141
FAX 03-3964-1587
E-mail rinsyoushiken@tmghig.jp